

こころとからだに、
おいしいものを。



2021年8月31日

ダイドーグループホールディングス株式会社
2021年度（2022年1月期）第2四半期質疑応答（要約）

Q1-1.他社の決算からは、自販機チャネルで価格低下が進んでいるように見受けられるが、ダイドーの価格戦略について教えてほしい。

A1-1. 自販機での価格競争はおさまっており、目立った動きはないと認識している。商品ミックスによる販売単価の増減はあるものの、他社に追随して価格を下げるのではなく、販売単価は維持し、販路を広げること注力していきたい。

Q1-2. 自販機の設置場所を獲得するにあたっての競争環境は、現状どうなっているのか。

A1-2. コロナ禍を受け、設置場所獲得にあたっての各社の戦略は二分しており、市場が寡占の方向に動いているように感じている。

【関連ページ：決算概要 P.10（当社自販機の設置台数推移）】

Q2. サプリメント通販事業（事業セグメントは国内飲料事業）が、営業利益の増加要因に大きく寄与しているかと思うが、内訳を教えてほしい。また、同事業の成長拡大の背景にあるのは「ロコモプロ」か、あわせて今後のその他の商品も含めた戦略を教えてほしい。

A2. サプリメント通販事業は、この上半期も大幅に成長している。そのほとんどは主力の「ロコモプロ」の売上によるものであり、この一品で売上成長を実現、今後も数年は継続できると考えている。しかしながら、この一品のみで、売上100億円を超えるのは難しく、第二の柱となる商品の開発が必要と考えているが、詳細については発表できる段階ではない。

サプリメント通販事業においては、顧客獲得効率を見ながら広告宣伝費をコントロールしているが、その利益水準は、国内飲料事業と比べても高い数値を維持できている。なお、今期計画の国内飲料事業の粗利増加要因（約30億円）は、サプリメント通販事業の利益貢献もさることながら、その多くは自販機台数の増加を背景にした飲料の販売数量の増加を見込んでいる。

【関連ページ：決算概要 P.16/P.23】

Q3. 医薬品領域（※）については、希少疾病用の医療用医薬品事業のみにフォーカスするのか。診断や検査など他の分野への取り組みは予定しているか。

A3. これからの数年は、希少疾病の医療用医薬品事業の立ち上げに集中し、次のテーマの展開については、グループ内に知見が貯まった段階で検討する。

*医薬品関連の事業について：当社グループでは、医薬品・医薬部外品のドリンク剤等の受託製造を行う「医薬品関連事業」のほか、2019年より希少疾病用の医療用医薬品事業に参入。育成中である同事業の事業セグメントは、現在、「その他」に分類している。

【関連ページ：決算概要 P.31～35】

こころとからだに、
おいしいものを。



Q4. 2022年度からはじまる次の中期経営計画の考え方について教えてほしい。これまでの投資に対するリターンを回収できる段階に入ると理解してよいのか、また新規事業やM&Aの考え方について伺いたい。

A4. 2019年度~今期（2021年度）までの中期経営計画では、「基盤強化ステージ」として、国内飲料事業におけるオペレーションの改革（スマート・オペレーション体制の構築）に向けた投資、大同薬品工業（医薬品関連事業）の新工場/新ラインへの投資を進めてきた。2022年度からは「成長ステージ」として5年間の期間を想定している。スマート・オペレーションにかかる投資が継続することから、1年目から利益改善がしていくというタイミングではないが、これまでの成果を出す段階であると考えており、少なくともトップラインの成長は継続し、期間中に利益貢献に波及していく組み立てを考えている。

まずは既存事業の改革に軸足を置くことを優先し、その上で、新規事業/M&Aについて、既存事業との利益のバランスを見ながら投資判断をしていく。

【関連ページ：決算概要 P.6~7】

【注意事項】

本資料に記載の内容は、フェアディスクロージャの観点から、ダイドグループホールディングス株式会社 2021年度（2022年1月期）第2四半期決算概要に関する質疑をもとに、当社の文責により趣旨を要約（順序不同・補足・補正）したものであり、その情報の正確性・完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更される可能性があります。なお、本資料に記載されている当社グループの計画・将来の見通し・戦略などのうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来の業績に関する見通しであり、これらは当社において発表日時点で入手可能な情報による当社経営陣の判断および仮定に基づいています。従って、実際の業績は、不確定要素や経済情勢その他リスク要因により、大きく異なる可能性があります。また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなさるようお願いいたします。